

## 「市民活動センター長期休館に関するアンケート」結果の概要

【目的】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民活動センターも4月8日から5月末まで長期の休館となった。そこで、市民活動団体に当センターの休館に対する意見、活動におけるコロナ禍の影響や対応を聴取し、今後の方針を考える資料とした。

【期日】令和2年4月29日～5月10日

(5月10日以降も数件返信があり、5月21日を最終とした)

【方法】市民活動センターに登録している市民活動団体に電子メールで送付し、電子メールで回収した。発送は127団体、うち回答は34団体。(回収率26.8%)

### 結果概要

※数字は回答団体数。また原文にあった個人情報や団体名は削除しています。

#### (1) 市民活動センターの臨時休館でお困りのことはありますか？(自由記述)

印刷ができない	8
会議室が利用できない	5
相談ができない	3
交流ができない	2
(困りごとでないが) ネットでの情報提供はありがたい	3

#### 2) 活動にどのような影響が出ていますか？(項目選択・複数回答可)

ほぼ活動停止の状態になっている	18
制限を加え、縮小ながらも活動は続けられている	9
注意しながら、以前と同じく活動を続けられている	5

#### 3) 具体的にどのような影響が出ていますか？(項目選択・複数回答可)

イベントや講座の延期や中止	26
活動場所が使えない	21
「居場所」活動等の「場」を設けられない	16
団体のサービス利用者や支援対象者と会えず、様子がわからない	14
今後の活動計画が立てられない	14
会議ができない (ICT環境が未整備も含む)	12
活動資金の減少に不安がある (寄付や助成金、バザー、利用料など)	7
感染予防や安全対策ができない	7
ボランティアやスタッフの確保ができない	5
その他 (活動できていない)	2
その他 (情報発信できない)	1

4) 活動が続けられている方に伺います。どのような対応・工夫をされていますか？（自由記述）

リモートで連絡・会合・情報発信など活動している （オンライン会議、電話、メール。LINE.、HP、ZOOM, Facebook）	11
（換気、隣人との距離、手洗いなど）感染対策して活動している	5
縮小して活動している	4
使用可能な施設（事務所、保育所など）で活動している。	2
通常通り活動している	1
ポスティングしている	1
総会は書面評決した	1

5-1) 自粛が長期化する場合、今後どのような影響があると思いますか？

団体や活動に関して（自由記述）

活動に関して	活動が縮小・停止する	12
	活動が困難になる	5
	活動の先行きが不安である	3
	活動の遅れがでる	2
	縮小して実施する	2
	方法を変えて継続する	1
運営に関して	活動財源が悪化する（委託金の減額・寄付金の減少）	5
	人材不足になる	2
	施設が利用できなくなる	2
	情報発信停止する	1
	意欲が減退する	1
	組織の維持が困難になる	1
	会員が減少する	1
その他	影響なし	1
	新展開を期待する	1

5-2) 自粛が長期化する場合、今後どのような影響があると思いますか？

団体の利用者に関して（自由記述）

交流が減少し孤立化する	7
利用者数が減る	4
活動に参加できない	3
ストレスが発生する	3
情報の受益がなくなる	2
生活困窮になる	2
元気がなくなる	1
再開が期待できる	1

6) 参考のためにお聞かせください。

全世界が今まで経験したことの無い状況に苦しんでいます。このような中で市民活動はどのように変化していくとお考えですか。思いのままにお書きください。(自由記述)

以下、分類していくつかの意見を抜粋した。

① 消極的意見 (10 団体)

- ・軌道に乗っていた市民活動が中断されたので、再開する意欲とエネルギーがあるかどうか疑問。
- ・皆で話合いの時間を共有することで繋がりができる市民活動の楽しみは減ってしまいそうです。
- ・実際に集まって、人と人が交流して得られる実感を伴った感情体験が、より貴重で大切な機会になると思います。
- ・イベント事が今までと同じようにできず、3密を避けた、小規模なイベントになっていくと思う。
- ・この方たちへの居場所提供も出来れば継続したい。しかし、ボランティア含めた参加者に対する感染リスクを考えると活動の一時的な休止も止むを得ない。

② 前向きな意見 (16 団体)

- ・従来の活動を継続することにこだわらず、新たに発生した課題に取り組む姿勢が必要である。
- ・これまでの慣例・通例に凝り固まらない、柔軟な発想が必要。
- ・一番期待しているのは、分野を飛び越えた市民活動同士のコラボレートが増えていくことです。
- ・講座開催の見通しが立たない状況ではありますが、発信は地道に続けていくつもりです。
- ・自治会や自主防災組織の存在意義が問われる事態であり、無力さを痛感する状況ではあるが、大規模地震と感染症の複合災害の発生にも備える必要があり、組織として何ができるのか、どのように対応していくのか、担当組織や予算をどうするのか等々について、早急に幅広い議論を行う必要があると考えている。

③ 遠隔交流に関する意見 (13 団体)

※ そのうち特にオンライン会議に関する意見が 8 団体あった

- ・この機会に、オンライン患者会も検討中です。(医療・健康系の活動)
- ・会議ができないので zoom などのネットを介してのミーティングが必要になっていくと思います。
- ・インターネットを介してコミュニケーションが増える。物理的な距離とは関係ない活動が増える。
- ・早急にインターネットなどの情報機器に慣れていない人への支援が必要だと思います。

## 7) その他 (他団体と共有したいこと、希望することなどを自由記述)

### ① 団体内および団体間の情報交換に関すること (7 団体)

- ・ 市民活動に携わる各団体が、
  - ①会の（主に内部の）運営上どのように工夫されているか
  - ②活動の対象にしてこられた人達（外部に）対して今どんなことを行っておられるのかを知りたいなと思います。直接的には親しい会もありますが、ご縁のない活動もあります。でもきっと参考になることがあるのでは？と思います。市民活動センターがハブになって、皆さんの声を集めてくださり、見たい人が見られるといいな。
- ・ 市民活動は地域のつながりが根本にあると思うが、それがままならない今、どのようなことが自分たちにできるのかとても悩んでいる。しかし、こういう状況下だからこそ、つながることの継続が必要なのだと思う団体同士のつながりやコラボレーション等を進めていく必要がある。
- ・ ネットを介して安全にミーティングができる方法を教えていただけるとありがたいです。
- ・ 市民ベースで、情報交換できるツールの設定と企画者が必要となると考えています。

### ② 活動の継続に関すること (4 団体)

- ・ 地域内の見守りは、外（道路側）からさりげなく見守る。
- ・ 景観維持のために花への水やりをつづけています。もう一つに就労支援としての灌水作業があるため最低週 2 回は実施しています。

### ③ 市民活動センター関連 (1 団体)

- ・ 今回、助成金情報で知り得なかったことを市民活動センターのメルマガでお知らせいただきました。大変感謝しております。